

クレアレポートは、 足で稼いだ現地の生の情報が満載!

(財)自治体国際化協会ニューヨーク事務所所長補佐 牧 直美 (広島市派遣)

クレアでは、海外各地域の地方行財政制度や各種施策、地域コミュニティの取り組みなど、様々な分野の調査を行っています。調査は、自治体の皆さまからのご依頼によるものと、海外事務所職員自らがテーマを定める自主調査の2つに大別されます。自主調査のうち「クレアレポート」は、海外事務所へ派遣されている地方自治体の職員が、2年間の海外勤務の集大成として書き上げる、いわば卒業論文のような位置づけのレポートです。クレアレポートでは、海外の自治体が実施した最新のプロジェクトや、小さな町の優れた成功例など、海外拠点の強みを活かした生の情報を提供しています。本稿では、クレアレポートの魅力や、調査のポイントなどをご紹介します。クレアレポートをより身近に感じていただき、ご活用いただければ幸いです。

クレアレポートの魅力

1 現地発の情報を収集

クレアはニューヨーク、ロンドン、パリ、シンガポール、ソウル、シドニー及び北京の、海外7都市に事務所を設置しています。情報収集の方法は、国によって異なりますが、ニューヨーク事務所ではおおむね、以下のような方法で行っています。

- ① ローカルニュースを扱う“am New York”、“Metro”などの無料情報誌や、“NY1”などの地元テレビ番組
- ② ジェトロやJNTOなど、現地の日系機関からの情報
- ③ 全米市長会など米国の地方行政関係者組織の年次総会（ワークショップで紹介される事例や参加者との情報交換）
- ④ 現地で行われる各種セミナー、勉強会での情報交換
- ⑤ “New York Times”やニューヨーク市等のSNS及びウェブサイト
- ⑥ 事務所の現地スタッフの収集する口コミ情報

こうして見ると、一部を除き、現地でしか得られない情報がほとんどです。海外拠点があるからこそ、日本では知る機会があまりない、まだ注目されていない事例の掘り起こしができるともいえます。筆者の場合は、③の組織の一つ、全米カウンティ協議会(NACo)の総会で、フロリダ州セント・ルシーカウンティの財政再建の成功例を知りました。

これらの情報は、クレアレポートのほか、ニューヨーク事務所のウェブサイトやクレアメールマガジ

ン等でも随時、情報提供しています。

クレアニューヨーク事務所 <http://www.jlgc.org/>
クレアメールマガジン

<http://www.clair.or.jp/j/mailmagazine/index.html>

2 足で稼いだ生の情報

調査において、ウェブサイトや文献によるデータ収集は基本的なプロセスといえます。しかし、成功に至った経緯やデータの裏付け、外部評価などを知るには、現地調査が有用です。筆者の例では、現地に1週間滞在し、インタビューを行った関係者は60人以上。インタビューのほか、議会の予算審議や市民予算委員会の聴講、商工会議所や地域歴史センター、図書館など5施設4団体1企業を訪問しました。現地では、進んだ住民自治の現実を目の当たりにし、公開資料では知り得なかった事実や、利害関係者及び彼ら自身の評価を知ることができました。何より、圧倒的な指導力によりカウンティを財政再建に導いたリーダーの、謙虚で慈愛に満ちた人柄と、彼女を支える議会やスタッフ、地域コミュニティとの厚い信頼関係を実感として知ることができたことは、大きな収穫でした。インターネットやSNSが普及する昨今ですが、現地を知る、



現地調査でのインタビューの様子

人を知る、人と人とのつながりを知る、ということは、やはり現場でしか得られないものではないでしょうか。こうして地道に足で稼いだ情報は、レポートの骨格となるとともに、レポートにリアリティと説得力を与えると考えます。

3 実務者の視点による分析

どんなに素晴らしい事例でも、実際に我が国で活用することが難しいものであれば、そのレポートの有用性は限られたものとなるでしょう。クリアレポートは、我が国の地方自治体においても活用できるのではないかとと思われる事例を多く取り上げています。また、調査及び執筆は、地方自治体の実務者レベルの職員が行いますので、テーマやその視点は身近であり、紹介する取り組みは実用的で、直接施策に反映しやすい内容です。クリアレポートは、海外の地方自治体の持つ優れた事例に焦点を当てた、正に地方自治体職員による地方自治体職員のためのレポートなのです。

調査の4つのポイント

それでは、具体的にレポートの作成はどのように行われているのでしょうか。レポートは、テーマ設定に始まり、事前調査、質問票及びドラフトの作成、現地調査、執筆といったプロセスを経て作成されます。詳細な内容は、クリアメールマガジン45号 (http://www.clair.or.jp/j/forum/c_mailmagazine/201301_2/2-1.pdf) で紹介していますので、本稿ではエッセンスのみ、実際の作成プロセスで学んだ、調査のポイントを取り上げたいと思います。

1 テーマ設定 (宝探し)

優れた成功例、「宝」は日々接する現地発の情報の中に盛りだくさん。特に自治体の公式ウェブサイトには様々な情報が公開されています。基礎的な数値や概略的な内容であれば、ここだけで多くの情報が把握できます。

2 事前調査 (宝の山の発掘)

公式発表資料を中心に地道な翻訳と読み込みをすることで、キーワードが浮かび上がり、ポイントがつかめるようになります。必要なのはやる気と根気だけ。成功に至る近道はありません。

3 現地調査への布石 (宝に近づく)

事前調査がある程度進んだら、質問票を作成しま

す。質問票は事前に相手先に送付し、回答があれば追加の質問を再度送付します。この交信を繰り返すことで、課題の核心に近づくとともに、相手先に本気度を示すことができます。誠実で真摯な姿勢は、調査の位置づけを高め、相手先をも本気にさせます。

4 現地調査 (宝の真実)

現地では、関係者へのインタビューや施設訪問、あるいは人間観察など、現地でしかできないことに集中します。インタビューでは公表資料の知識を前提とした、焦点を絞った質問をします。現地調査は、新たな事実や人を知ることで調査の精度を高めるだけでなく、訪問先との継続的な関係づくりにもつながります。



セント・ルシーカウンティ地域歴史センターで働くボランティア・スタッフと



セント・ルシーカウンティ議会から調査に対する謝辞決議を受け取る筆者

クリア海外事務所で働く、あなたの“同僚”をご活用ください！

海外の先進事例を自治体の皆さまと共有し、政策課題解決の参考としていただくことは、レポート執筆者の使命であり喜びです。まずはご興味のある分野のレポートから、ぜひご一読ください。

クリア海外事務所ではクリアレポートのほか、自治体の皆さまからのご要望に応じ、調査の代行や、サポートも行っています。私たちは、全国の自治体の皆さまが“同僚”と考えます。情報提供や調査依頼のご希望がありましたら、お気軽にお問い合わせください。あなたの同僚が、ご相談に応じます。

【参考】

クリアレポート (全検索)

<http://www.clair.or.jp/j/forum/pub/>

クリアレポートNo.376「フロリダ州セント・ルシーカウンティ財政再建の軌跡—セント・ルシーから学ぶこと—」(筆者のクリアレポート)

—本文 <http://www.clair.or.jp/j/forum/pub/docs/376.pdf>

—完成報告 (メールマガジンVol.45) http://www.clair.or.jp/j/forum/c_mailmagazine/201301_2/1-1.pdf

—調査報告 (メールマガジンVol.37) http://www.clair.or.jp/j/forum/c_mailmagazine/201210_2/1-3.pdf